

z u i r i n

長善寺だより

# 瑞林

九・十月号

令和4年9月7日発行

発行者 瑞林山 長善寺

〒448-0006 刈谷市西境町前山244番地

TEL 0566-36-8386

z u i r i n

## 送り火

8月16日 奉納いただいた  
ローソクの灯りで厳修

「いのちの理由」

作詞作曲 さだまさし

※法然上人800年大遠忌(2011年)イメージソング

私が生まれてきた訳は 父と母とに出会うため

私が生まれてきた訳は きょうだいたちに出会うため

私が生まれてきた訳は 友達みんなに出会うため

私が生まれてきた訳は 愛しいあなたに出会うため

春来れば 花自ずから咲くように

秋くれば 葉は自ずから散るように

しあわせになるために 誰もが生まれてきたんだよ

悲しみの花の後からは 喜びの実が実るように

私が生まれてきた訳は 何処かの誰かを傷つけて

私が生まれてきた訳は 何処かの誰かに傷ついて

私が生まれてきた訳は 何処かの誰かに救われて

私が生まれてきた訳は 何処かの誰かを救うため

夜が来て 闇自ずから染みるよう

朝が来て 光自ずから照らすよう

しあわせになるために 誰もが生まれてきたんだよ

悲しみの海の向こうから 喜びが満ちて来るように

私が生まれてきた訳は 愛しいあなたに出会うため

私が生まれてきた訳は 愛しいあなたを護るため

一切の生きとし生けるものは、幸せであれ。

ゴータマ・ブッダ

# 出世本懐(しゅつせほんかい)

仏(お釈迦様)がこの世に現れた本当の目的のことを出世本懐とい  
います。

阿弥陀如来・釈迦牟尼如来・薬師如来・大日如来…いろいろな仏  
がいらつしゃいますが、それぞれの仏には、この世に現れたそれぞ  
れ個別の理由・目的があります。

日頃から「南無阿弥陀仏」とお念仏している私どもにとって、一番  
身近な極楽浄土の主、阿弥陀仏がこの世に現れた目的はなんでし  
ょうか？

『無量寿経』には「我、この世において仏となりて、教法(きょうぼう)  
(を演説し、諸々の疑網(ぎもう)を断ち、愛欲の本を抜き、衆悪の  
源を杜(と)じ、三界に遊歩するに、拘碍(くげ)するところなし」と  
説かれています。

また念仏往生の願と言われる第十八願には「われ仏を得たらんに  
十方の衆生、至心信楽(しんしんぎょう)して、わが国に生ぜん  
と欲して、乃至十念せん。もし生ぜずんば、正覚を取らじ。」と説  
かれています。

阿弥陀仏が仏となった真の目的は、苦を除き衆生を救い取ること  
です。私ども衆生(凡夫)を摂取し、誰一人として漏らさずに極楽浄  
土にお導きくださるのです。

だからこそ、今現在も、西方極楽浄土で私どもを見守り続けてく  
ださっているのです。

では仏教を開かれたお釈迦様(釈迦牟尼仏)の出世本懐は何なの  
でしょうか？

浄土宗西山派の派祖西山證空上人はその書物『自筆御鈔』の中で  
「仏の出世の本意は弥陀の別願を説かんが為なり」と著され、お釈  
迦様がこの世に現れた目的を阿弥陀仏の別願を説くためとしてい  
ます。

つまりお釈迦様は阿弥陀仏の衆生救済の誓いを私どもに示して凡  
夫を救うこと、すなわち阿弥陀仏の本願により、すべての凡夫が皆  
往生することを知らしめるためにこの世においてになったと説か  
れるのです。

○釈迦牟尼仏の出世本懐 ↓ 阿弥陀仏の衆生救済を

我々に説き示す

参考文献 「證空辞典」 東京堂出版



国宝

刺繍釈迦如来説法図  
奈良国立博物館蔵

西山浄土宗第81代法主 上田良準宛下 著 南紀西山白馬会 発行

## 6、難信の法へ出世本懐

お釈迦様のお説法を聞き、他のお弟子にも、悦びの色が見えました。お釈迦様は、お話もほぼ終わったという面持ちで、何かを思い起こすように静かに、

舍利弗 私が今、阿弥陀如来を信じるものをこそつて、お護りくださる諸仏の不可思議功德を称讚したように、諸仏の方でも 釈迦牟尼仏はよくもまあ困難なことを仕遂げたものだ。処はいたつてしにくい娑婆、時も五濁末の世で考え方も心の持ち方も悪く、行いは廃れ、命も軽んじられる」という悪い条件の中で、よくも見事に大変な修行を仕遂げ、尊い悟りを開き、しかもこの世の分別では信じ難い悟りへの道を、世の一切の衆生のためにと、わかりやすく行いやすく説き頭すとは、大したものだ」と私の不可思議功德の評判を立ててくださるのだ。」と

つい今まで阿弥陀如来や諸仏の功德ばかりを称讚していたお釈迦様が、自分も諸仏に讃えられていることを、お話になるのを聞いて、舍利弗は、智慧をたのんだ自分の過去を顧みて、分別ではぜったい開かれぬ自分の世界への道をご苦勞を重ねて自分たちのために説き頭してくださったお釈迦様のお慈悲に深い感激を覚えるのでした。



説法の地 サヘート・マヘート（祇園精舎）

と、その舍利弗の思いを裏付けるかのように、

舍利弗 よく聞かれよ。まことに諸仏の言われる通りだ。この釈迦は、五濁悪世に難事を仕遂げ、悟りを開き、法を説いた。なかでも 分別を働かせれば働かせるほど信じ難くなるこの法を、今日おん身たちに話したように、一切衆生の救いとして説き究めることは、この釈迦自身にとつても生涯最大の難事だったのだ。」と感慨深くお話を結びにられました。

このお説法は西方の極楽に一切の衆生を救い取ろうと、今もなお喚びくださる阿弥陀如来のみ心にこたえて、お釈迦様が、ご生涯をかけて、心をお砕きくださった教えですから『世本懐の教え』と言われます。

## 7、むすび

お釈迦さまは、もはや、何事もなかったように、再び御眼を閉じて深い禪定にお入りになりましたので、舍利弗をはじめ、集まっていた大勢のお弟子や天人阿修羅なども、みな尊いみ教えを聞き、心から信じる事ができた悦びに胸を躍らせて、静かにお釈迦様を拜んで立ち去りました。 おしまい



釈迦成道の地 ブッダガヤ

令和2年3月から連載してきました「阿弥陀経物語」が今回で終了となりました。法事でお称える阿弥陀経を少しでも親しみやすくする目的で始めましたが、連載期間が長すぎて、内容も途切れ途切れになり、把握できなかつたと思います。連載をまとめたものを用意したいとおもいます。

次の連載企画については、「法然上人の『法語』を、一回ごとくに完結するような形で紹介できればと思っております。

**寺子屋食堂「ほつとライス長善寺」**  
**毎月第3火曜日開催**

9月20日 15:30～18:30

対象 小中学生とその家族

カレー弁当・飲み物（事前予約制）  
 大人300円 子供100円  
 お土産あり

参加申し込みは  
 専用LINEアカウント  
 からどうぞ



たくさんの方から  
 子ども食堂へ

ご寄付をいただきました。  
 ありがとうございます。



お土産一例

**お寺で朝活「テンプルモーニング」**

毎月1日の朝はお寺で心の掃除。

誰でも参加OK、途中参加・退席OK、参加費なし  
 どなたでもお気軽に参加ください。

開催日 毎月1日 朝7時から

お経 20分

お掃除 20分

お茶 20分



「掃除は心の垢を落とし、心の塵をはらう」

**住職の仏心（ぶつごころ）唯我独言（ひとりごと）**

総理大臣経験者が襲われ命を落とすという悲劇が起きてしまいました。統社会を排除した平和な日本でもまさかこの令和の時代に！と思われる事件でした。事件の背景には宗教団体に関する怨恨が原因にあると報道され、団体と政治家との関係がさかんに追及する報道が続いています。憲法には政教分離の原則と、信教の自由が規定されています。そのことに関してここで深掘りするつもりはありませんが、歴史上政治と宗教は密接な関係で相互に都合のいいように利用してきたことは事実です。不殺生を説く仏教が太平洋戦争時、植民地布教という名目で直接的・間接的に戦争に協力したという大きな間違いを犯しています。宗教・信仰は人々の幸福の追求と実現のためであるべきものです。決して他人を陥れるとか傷つけるものではないはずです。私どもは盲目的に傾倒することなく常に自分の頭で何のための信仰なのかを考えることを忘れてはけません。

**お寺ピラティス**

基本開催日 第2週・4週火曜日

9時30分～10時30分

参加費 1回 1000円

持ち物 ヨガマット・タオル  
 マスク着用・手指消毒にご協力ください

長善寺ホームページ・Facebook・LINEが新しいお知らせを更  
 新しています。ぜひご覧ください

homepage



YouTube



**◎永代供養合同墓「みかえりの塔」納骨壇のご案内**

お墓の継承者がいない方。

個人や夫婦二人だけの納骨場所をお探しの方。

お寺に後の供養をお願いしたい方。諸々の事情に対応する

永代供養合同墓と納骨壇です。長善寺が永代に渡り供養させていただきます

◎納骨壇

個人壇

25万円～

家族壇

50万円～

◎永代供養墓

みかえりの塔

20万円



**◎浄土宗発刊エッセイングノート「縁の手帖」(念にのてちょう)**

私たちがやがて迎える死（往生）を浄土宗の教えに沿って分かりやすく説明しています。

ご自身の人生の振り返りに

活用ください

一冊 200円



浄土宗西山禪林寺派  
**瑞林山 長善寺**  
 住職 丹羽一堂

〒448-0006 愛知県刈谷市西境町前山244番地  
 TEL:0566-36-8386 FAX:0566-70-9024  
 E-mail: tyozenji@gmail.com  
 HP: https://www.tyozenji.com/